

株式会社ガイドー

TASK Re Shoulder

取扱説明書

XSE7901-032-0

J2-BAA5-G016
(774590060)
2024.10





このたびはアシストスーツ「TASK」シリーズをご購入いただきまして、誠にありがとうございます。

本製品は、肩関節の上げ下ろし運動のトレーニング機器です。

体の不自由な使用者は、必ず医師または理学療法士の意見を受けた上、本製品を使用してください。

本製品の使用者は、補助者から補助を受けながら使用してください。

また、ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。

お読みになったあとは、本書を大切に保管してください。

※商品のデザイン・仕様・外観は予告なく変更する場合がありますのでご了承ください。

目次



| | |
|-----------------------------|----|
| 1. 安全に使用するために..... | 3 |
| 1.1. 使用上のご注意..... | 3 |
| 1.2. 補助者への注意事項..... | 6 |
| 2. 各部の名称とはたらき..... | 7 |
| 2.1. 各部品および付属品..... | 7 |
| 2.2. 本体各部の名称..... | 8 |
| 2.3. 各部のはたらき..... | 9 |
| 3. ガススプリング..... | 10 |
| 3.1. ガススプリングの種類..... | 10 |
| 3.2. ガススプリングの取り付け手順..... | 11 |
| 3.3. ガススプリングの取り外し手順..... | 12 |
| 4. 製品寸法の調整..... | 13 |
| 4.1. 高さの調整手順..... | 13 |
| 4.2. 背部フレーム幅の調整手順..... | 14 |
| 4.3. 背ストラップ幅の調整手順..... | 15 |
| 5. アシスト上限角度の設定..... | 16 |
| 5.1. 装着者肩関節の可動範囲の確認..... | 16 |
| 5.2. アシスト上限角度の切り替え可能角度..... | 17 |
| 5.3. アシスト上限角度の切り替え操作手順..... | 18 |
| 6. 装着手順..... | 19 |
| 6.1. 装着手順..... | 20 |
| 6.2. 誤った装着状態と正しい装着状態..... | 22 |
| 7. スイッチ操作..... | 23 |
| 7.1. スイッチの操作可能角度..... | 23 |
| 7.2. スイッチ ON の操作手順..... | 24 |
| 7.3. スイッチ OFF の操作手順..... | 24 |
| 8. メンテナンスとトラブルシューティング..... | 25 |
| 8.1. 定期点検..... | 25 |
| 8.2. 長期保管時の取り扱い..... | 26 |
| 8.3. 輸送する時の取り扱い..... | 26 |
| 8.4. 廃棄する時の取り扱い..... | 26 |
| 9. 主要諸元..... | 26 |
| 10. 製造販売元・お問い合わせ..... | 27 |

1. 安全に使用するために



1.1. 使用上のご注意

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくために、いろいろな表示をしています。
内容（表示・記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

■「表示」を無視して誤った取扱いをすることによって生じる内容を次のように区分しています。

| | |
|---|--|
|  | 警告 「死亡や重傷を負うおそれがある内容」を示しています。 |
|  | 注意 「けがや財産に損害を受けるおそれがある内容」を示しています。 |

■お守りいただく内容の種類を、「図記号」で区分して説明しています。



| | |
|---|-----------------------|
|  | 「しなければならないこと」を表しています。 |
|  | 「してはいけないこと」を表しています。 |

■ 免責事項



地震、雷、その他の自然災害、当社の責任以外の火災、第三者の行為、その他事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負えません。あらかじめご了承ください。

本製品及び製品に付属の取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切の責任を負えません。あらかじめご了承ください。

 **警告**

| | |
|---|---|
|  | 本製品の使用者と補助者は、本説明書に記載する製品の特性、使用における注意事項、使用方法を十分に理解してから、本製品を使用してください。 |
| | 本製品を利用するとき、必ず補助者の監理のもと使用してください。 |
| | 本製品を着脱するときは補助者の補助のもと行ってください。 |
| | 本製品は衣服を着た上に装着してください。 |
| | 本製品を使用する際は、装着完了してからスイッチを ON にしてください。 |
|  | 本製品の使用方法の説明を十分受けていない人は操作しないでください。 |
| | 随意的な腕の上げ下ろしができない方に使用しないでください。 |
| | 装着者が安定した座位を保つことができない場合など、腰・ひざ・腕・その他本製品を使用するにあたり支障のある関節に疾病や外傷がある場合は使用しないでください。 |
| | 装着者の能力を超える重量物の保持には使用しないでください。 |
| | 使用中に痛み、しびれ等の不快を感じた場合は、直ちに使用を中止してください。 |
| | 装着者が本製品を使用するときに、補助者は本書で指定する接触禁止範囲に触れないでください。 |
| | 本製品を分解しないでください。（本書にて説明する調整部位を除く） |
| | 本製品を改造して使用しないでください。 |
| | 以下のような破損の原因となる行為、乱暴な取り扱いをしないでください。 <ul style="list-style-type: none">・本製品およびガススプリングなどの付属品に乗る・座る・踏むなど、強い負荷を与える・本製品およびガススプリングなどの付属品を落下させたり、放り投げたりする・本製品およびガススプリングなどの付属品を火中や水中に投じる |

 **注意**

| | |
|--|--|
|  | 着脱は本書の手順に沿って適正に行ってください。また、スイッチが OFF になっていることを必ず確認してください。 |
| | 各調整部位の交換・調整を行う際は、本書の手順に沿って行ってください。 |
| | 使用後は、各部位の汚れを取り除き、濡れている場合は乾燥させてください。 |
| | 本製品を保管する際は、水・粉塵・火気がないか確認してください。 |
|  | 0～40℃の範囲を超える環境下で使用・保管しないでください。 |
| | 激しい雨や著しい粉塵の環境下で使用・保管しないでください。 |
| | アンモニア、酸、塩分、オゾンガスなどの腐食性ガスまたは引火性ガスのある場所では使用・保管しないでください。 |
| | 使用前に定期点検項目を確認してください。 |

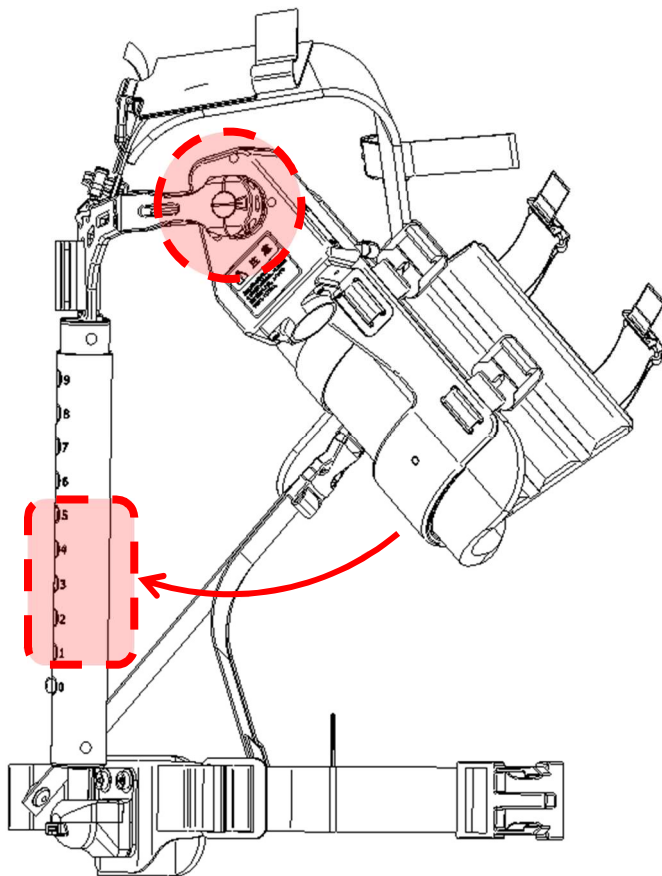
これら以外にも、本文の中で警告・注意事項としてそのつど取り上げています。

1.2. 補助者への注意事項



警告

- 装着者が本製品を使用しているとき、補助者は装着者の傍を離れないようにしてください。
- 装着者が不快を感じた場合、速やかにスイッチを OFF にし、使用を止めてください。
※スイッチの操作手順は 23 ページを参照
- 本製品をスイッチ ON にした場合、補助者はスイッチ以外の構造部を触らないようにしてください。
- 製品の各部分を調整したい場合、必ずスイッチ OFF にしてから操作してください。
- スイッチが「OFF」にした時下記の範囲を触らないでください。（着脱時を含む）



① アクチュエータユニットの回転軸から 5 c m 範囲内。

※アクチュエータユニットが回転するときに、指等を挟む危険性があります。

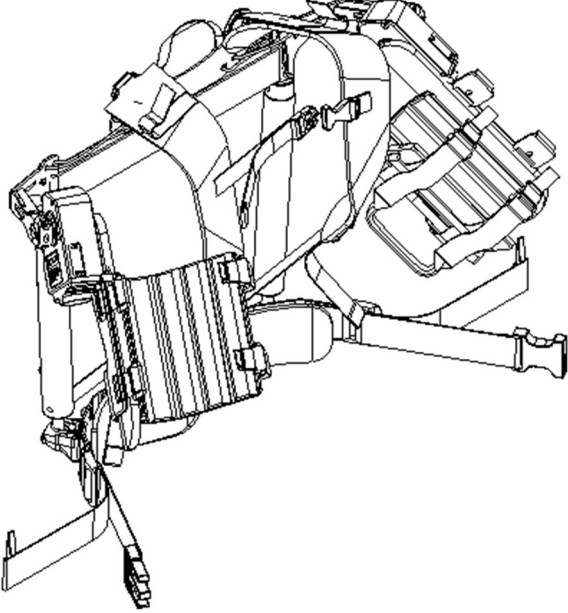
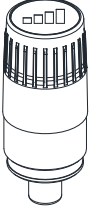

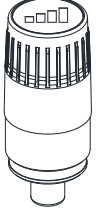

② 背部フレームの図示位置。

※回している腕フレームと衝突する危険性があります。

※背部フレームの高さを調節した場合、衝突する位置は図示位置と異なります。衝突する位置を確認してからご利用ください。

2. 各部の名称とはたらき

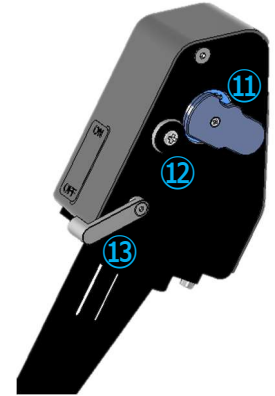
2.1. 各部品および付属品

| | | | |
|--|----|--|----|
| TASK Re Shoulder 本体 | | | |
|  | | ×1 | |
| ガススプリング Lv1 | | ガススプリング Lv2 (オプション) | |
|   | ×2 |   | ×2 |

2.2. 本体各部の名称



⑦拡大図
(腕パッド未装着)



- ①腕パッド
- ②腕ストラップ
- ③肩ストラップ
- ④胸ストラップ
- ⑤腰ストラップ
- ⑥腰部ユニット
- ⑦アクチュエータユニット
- ⑧背部フレーム
- ⑨背ストラップ
- ⑩肩ショックコード
- ⑪制限角度変更レバー
- ⑫角度制限ストッパー
- ⑬スイッチ
- ⑭ガススプリング取付部

2.3. 各部のはたらき

■ ①腕パッド ②腕ストラップ

アシストスーツを上腕に固定するために使用します。

■ ③肩ストラップ ④胸ストラップ

アシストスーツを肩に固定するために使用します。

■ ⑤腰ストラップ ⑥腰部ユニット

アシストスーツを腰に固定するために使用します。

■ ⑦アクチュエータユニット

上腕を持ち上げる力を発生させます。

■ ⑨背ストラップ ⑩肩ショックコード

アクチュエータユニットが作動するとき、腕パッドのずれを抑えます。

■ ⑪制限角度変更レバー ⑫角度制限ストッパー

レバーを回転させ、ストッパーに当たることでアシスト上限角度を4段階で調整できます。

■ ⑬スイッチ

ON にするとアシスト力が発生するようになります。

このスイッチは操作可能角度が決まっており、それ以外の角度ではスイッチにロックがかかっています。



- 下記の場合、まずスイッチが OFF になっていることを確認してください。

- ・本製品を持ち上げる時
- ・本製品を着脱するとき
- ・保管するとき

※スイッチの操作については 23 ページを参照

■ ⑭ガススプリング取付部

ガススプリングを取り付けることにより、アシスト力を発生させます。

ガススプリングのレベルを変える事により、アシスト力を変動させることができます。



- ガススプリングを落下させたり、放り投げたり、踏むなど、強い負荷を与えないでください。
- ガススプリングを火中や水中に投じないでください。

※ガススプリングの取り付け・取り外し方法については 11・12 ページを参照

3. ガススプリング

3.1. ガススプリングの種類

| | | |
|---|---|---|
|  | レベル 1 | レベル 2 (オプション) |
| |  |  |
| | 2.2~3.1 kg | 3.1~4.0 kg |

 **注意**

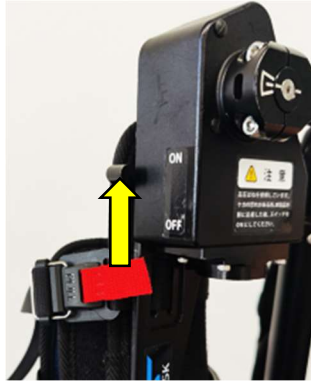
- ガススプリングには高圧ガスが封入されています。落下させたり、放り投げたり、踏むなど、強い負荷を与えないでください。
- 初めてお使いの場合は、レベル 1 からお試し頂き、用途に合わせてレベルを上げてください。
- ガススプリングの交換は、本製品を脱ぎ、部品落下の心配のない平面に静置して行ってください。

3.2. ガススプリングの取り付け手順

① 制限角度変更ストッパーを「∞」にしてください。



② スイッチを ON にしてください。



③ アクチュエータユニットを左図のように上向きにしてください。

※上/下向きの角度は右図を参考にしてください。

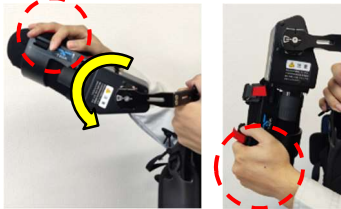


④ ガススプリングをアクチュエータユニットにねじ込んでください。



⑤ 腕パネルの先端をしっかり持ちながら、アクチュエータユニットを下向きにしてください。

※下向きにした後も腕パネルを離さないでください。



⑥ スイッチを OFF にしてください。

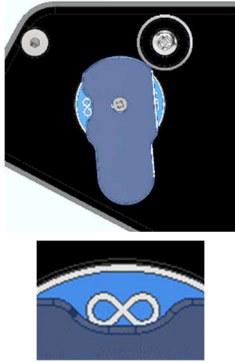


注意

- ガススプリングを交換する前に、必ず上限角度が「∞」になっていることを確認してください。角度の制限が加えた状態でスイッチを「ON」にすることが破損の原因となりますのでおやめください。
- 取り付け手順④の最中に腕パネルから手を離さないでください。
- 取り付け手順⑤の途中とアクチュエータユニットを下向きにした後も、スイッチを OFF にするまで腕パネルを離さないでください。腕パネルから手を放すと、アクチュエータユニットが勢いよく跳ね上がり危険です。これらの動作を行う場合は腕パネルをしっかり持つようにして下さい。

3.3. ガススプリングの取り外し手順

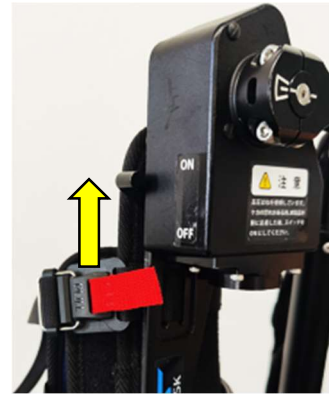
① 制限角度変更ストッパーを「∞」にしてください。



② 腕パネルの先端をしっかりと持ってください。



③ スイッチを「ON」にしてください。



④ 腕パネルの先端をしっかりと持ちながら、アクチュエータユニットを上向きにしてください。



⑤ ガススプリングをアクチュエータユニットから外してください。



注意

- 取り外し手順⑤の最中に腕パネルから手を離さないでください。

4. 製品寸法の調整

- 装着する際は、装着者に対し下に示す採寸を行い、サイズ対照表にて適合サイズを確認してください。
- 調整方法は目安ですので、装着者の体型に合わせて快適な位置になるよう調整して下さい。

| |
|--|
|  注意 |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 装着したままで調整を行うときは、必ずスイッチ OFF にしてから調整して下さい。 |

4.1. 高さの調整手順

- 本製品を装着する前に、装着者の身長に合わせて高さを調整してください。対象身長の目安は150cm～190cmです。

| サイズ対照表 | | | | | | | | | | |
|-----------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 身長[cm] | 150 | 154 | 158 | 162 | 166 | 170 | 174 | 178 | 182 | 186 |
| | ～ | ～ | ～ | ～ | ～ | ～ | ～ | ～ | ～ | ～ |
| | 154 | 158 | 162 | 166 | 170 | 174 | 178 | 182 | 186 | 190 |
| 背部フレームの数字 | 0 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 |

- ① 背部パイプのボタンを押込み、目的の数字の位置までパイプをスライドさせます。



- ② 数字の横の穴からボタンが飛び出したことを確認してください。



4.2. 背部フレーム幅の調整手順

- 本製品を装着する前に、装着者の腰幅に合わせて背部フレーム幅を調整してください。
- 調整可能幅は 20cm～30cm です。
- 調整方法は目安ですので、装着者の体型に合わせて快適な位置になるよう調整して下さい。

| | |
|--|---|
| <p>① 背筋を伸ばして立ち（又は座り）、骨盤の突起部の投影幅を採寸してください。</p>  | <p>② 腰ユニットからクッションをはずします。</p>  |
| <p>③ 中央のアジャスタを調整します。</p>  | <p>※ボールジョイント間のピッチが、採寸した寸法から 10cm を差し引いた寸法になるように調整してください。</p>  |
| <p>④ クッションを元に戻して完了です。</p>  | |

4.3. 背ストラップ幅の調整手順

- 本製品を装着する前に、装着者の肩幅に合わせて背部ストラップ幅を調整してください。
- 対応可能幅は 20cm～40cm です。
- 調整方法は目安ですので、使用時の体感に合わせて快適な位置になるよう調整して下さい。

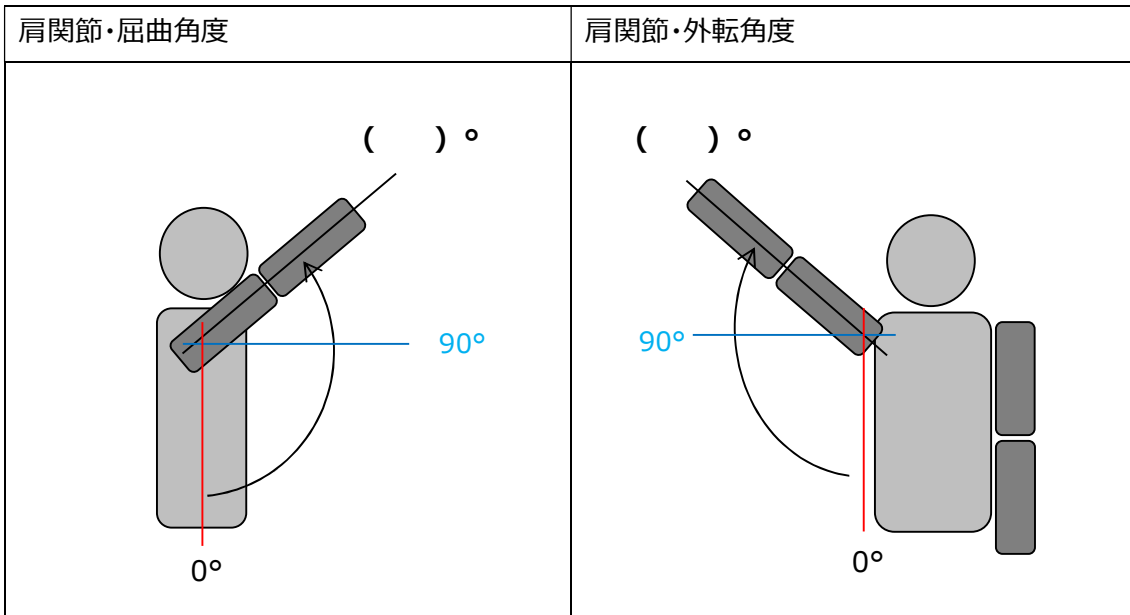
| | |
|---|---|
| <p>① 装着者の肩峰の幅を採寸してください。</p>  | <p>② 背ストラップのファスナーを外し、背部フレームの間隔を採寸した寸法通り調整し、貼り直してください。（27cm～40cm 調整可能）</p>  |
| <p>※外側を最短に調節しても、必要よりまだ長いと感じた場合、内側のファスナーを引っ張って更に縮めることが可能です。（20cm まで調整可能）</p>  | |

5. アシスト上限角度の設定

■ 装着者が本製品を使用する前に、肩関節の可動範囲を確認し、アシスト上限角度の設定をしてください。

5.1. 装着者肩関節の可動範囲の確認

■ 装着者の腕部を持ち上げ、下記動作を行い、痛みを感じない最大角度を確認してください。

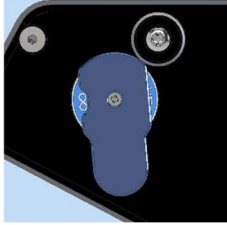









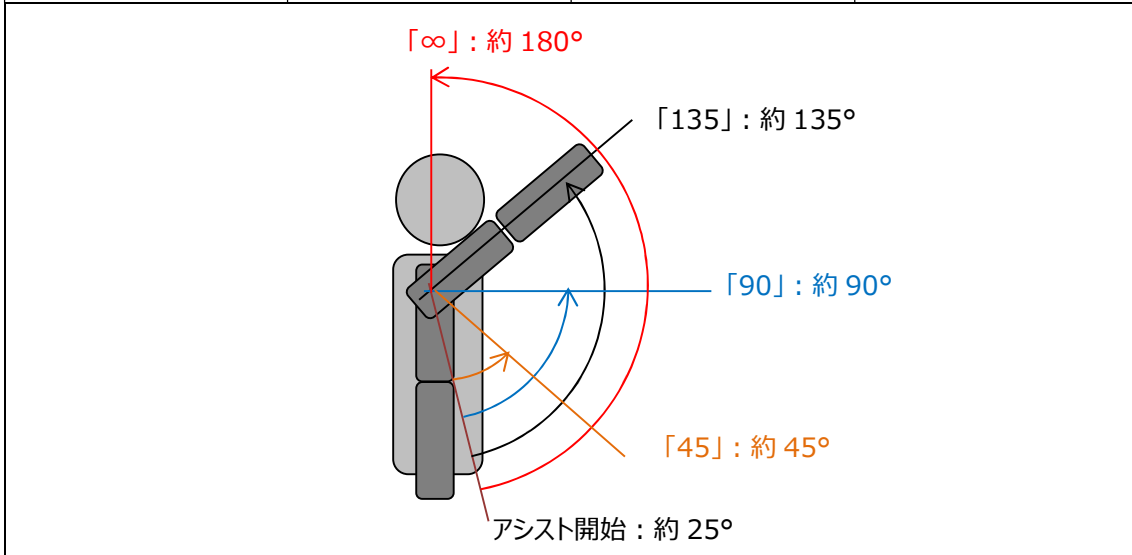
■ 上記二つの角度を超えないよう、アシストの上限角度を設置して下さい。



- アシスト上限角度の変更は、事前に装着者の肩関節の可動範囲を確認した上、必ず行ってください。

5.2. アシスト上限角度の切り替え可能角度

| 「∞」 | 「135」 | 「90」 | 「45」 |
|---|---|--|---|
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
| 約 25°~180°までアシスト | 約 25°~135°までアシスト | 約 25°~90°までアシスト | 約 25°~45°までアシスト |



注意

- アシスト上限角度を変更するとき、必ずスイッチ OFF の状態で行ってください。

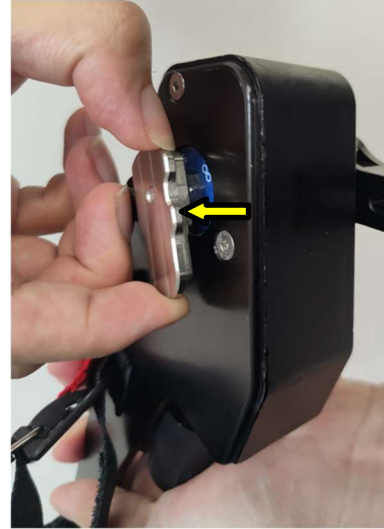
5.3. アシスト上限角度の切り替え操作手順

■ 左右それぞれのアクチュエータユニットにはアシスト上限角度を切り替えるレバーが備わっており、それぞれ独立して切り替えが可能です。

① 腕パッドを外し、角度制限レバーが見えるようにする。



② 角度制限レバーを4 mm程度軽く引っ張る。



③ 望ましい制限角度の文字がレバーの切欠きから見えるまでレバーを回転する。



④ 角度制限レバーを押し込みます。入りにくい場合は左右に軽く回転しながら押し込んでください。底まで戻っていることを押して確認してください。



6. 装着手順



注意

- スイッチを OFF にしてから着脱してください。
- 着脱する際は、装着者を安定な場所に座らせていることを確認してください。
- 着脱は補助者が本書の手順に沿って適正に行ってください。

装着動画はこちら



6.1. 装着手順

- 初めて装着する際は、13～18 ページの各部分の調整が終わってから装着してください。
- 装着者を背もたれのある椅子に着座した状態で装着してください。

① 本製品の背部フレームを持ち、装着者と椅子の間に置きます。



② 腰ストラップのバックルを留めます。



③ 腰ストラップのベルトを引き、フィットするように適度に締めつけます。



④ 両側の肩ストラップのバックルを外し、装着者の脇下に締め直す。



⑤ 肩ストラップをフィットするように適度に締めつけます。



⑥ 胸ストラップのバックルを留め、フィットするように適度に締め付けます。



- ⑦ 腕ストラップの赤い部分を外し、上腕を腕パッドに載せます。



- ⑧ 上腕を腕パッドに載せて、腕ストラップのバックルを留めて、適度に締めつけます。



- ⑨ 反対側も同様に装着し、適度に締めつけます。



- ⑩ 装着完了



6.2. 誤った装着状態と正しい装着状態

| 誤った状態 | 正しい状態 |
|--|--|
| <p>背部フレームの高さが低すぎる</p>  | <p>回転軸を肩関節と同じ高さまで調整する</p>  |
| <p>腰部ユニットの装着位置が高い（低い）</p>  | <p>腰骨と腰部ユニット中心を合わせる</p>  |
| <p>腰部ユニットが中心からずれた状態</p>  | <p>身体と腰部ユニット中心を合わせる</p>  |
| <p>背ストラップ・肩ショックコードが緩い</p>  <p>背ストラップ・肩ショックコードがきつい</p>  | <p>腕を正面に上げるとき、肩の軸が合っている、かつ上腕が腕パッドにフィットしている。</p>  |

7. スイッチ操作

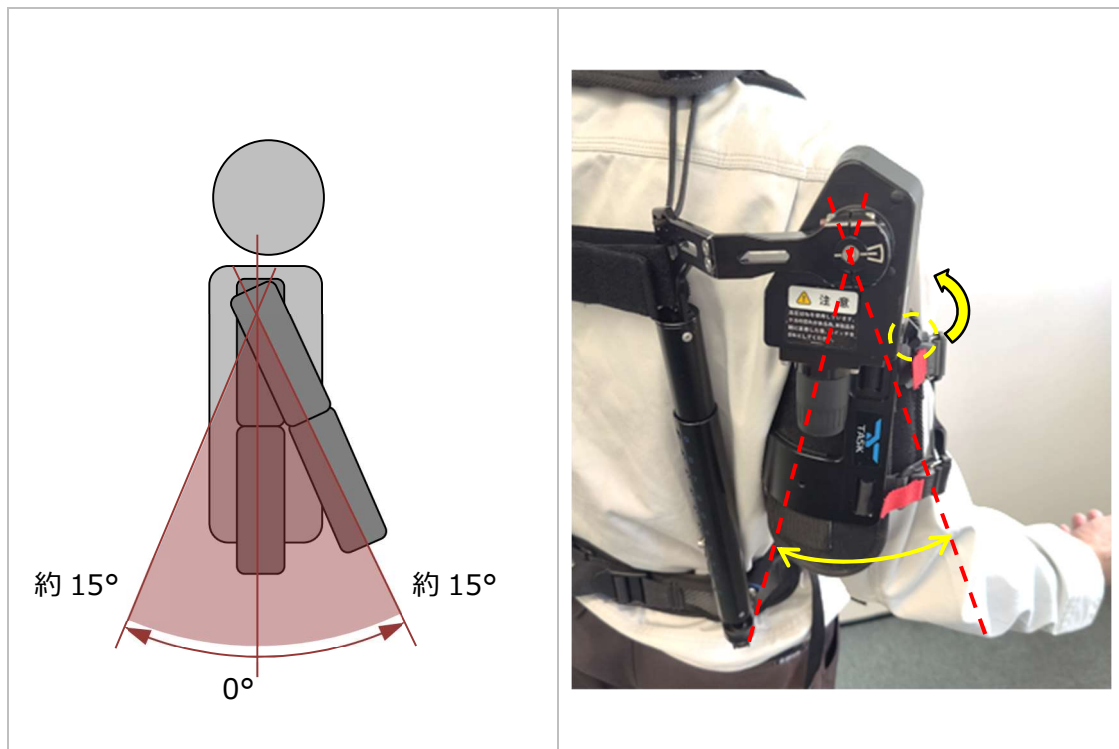


注意

- 本製品を使用する際は、装着完了してからスイッチを ON にしてください。
- スイッチは操作可能角度が決まっており、それ以外の角度ではスイッチにロックがかかっています。
- スイッチの破損や不意にアシストが発現し、けがの原因となりますので、ロック状態での無理な操作はおやめください。
- スイッチの操作が硬い場合は無理な操作をせずに操作可能角度まで腕を下げてください。

7.1. スイッチの操作可能角度

- 本製品の左右それぞれのアクチュエータユニットにはアシスト力の ON/OFF を切り替えるスイッチが備わっています。
- 下図で示すように、アクチュエータユニットが約±15°の間のみ、スイッチ操作ができるようになります。

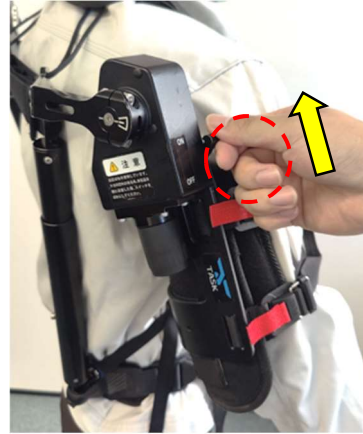


7.2. スイッチ ON の操作手順

① 腕をスイッチの操作可能角度まで下ろしてください。
※操作可能角度については 23 ページを参照



② スイッチを ON にしてください。



③ スイッチ ON の状態で腕を上げると、アシスト力が発生します。



7.3. スイッチ OFF の操作手順

① 腕をスイッチの操作可能角度まで下ろしてください。
※操作可能角度については 23 ページを参照



② スイッチを OFF にしてください。



8. メンテナンスとトラブルシューティング



注意

- 本製品を分解しないでください。（本書にて説明する調整部位を除く）
- 本製品を改造して使用しないでください。
- 使用前に定期点検項目を確認してください。
- 各調整部位の交換・調整後は、締結部を緩み無く確実に締めてください。
- 使用後は、各部位の汚れを取り除き、濡れている場合は乾燥させてください。

8.1. 定期点検

| 項目 | 頻度 | 解決方法/メンテナンス方法 |
|--------------|---------|--|
| 締結部の緩み | 使用前 | 各締結部のボルトがしっかり固定されているか確認してください。緩みがあればしっかりと締めこんでください。 |
| ガススプリングの緩み | 使用前 | ガススプリングがしっかり固定されているか確認してください。緩みがあれば 11 ページを参照してしっかりと取り付けてください。 |
| 装具の破損 | 使用前 | 装具のステッチおよび表面の損傷・劣化がないか目視および手で触れて確認してください。全てのバックルが正しく機能するか確認してください。損傷・劣化・機能不全が見られた場合は、対象の装具の使用を中止・交換してください。 |
| 金属部品の割れ・破損 | 使用前 | 使用を中止し、メンテナンスを依頼してください。 |
| 動作時の異音・動作不具合 | 使用前・中・後 | 使用を中止し、メンテナンスを依頼してください。 |
| アシストカが発生しない | 使用中 | 使用を中止し、メンテナンスを依頼してください。 |
| 粉塵・水滴の付着 | 使用後 | 各部位の汚れを取り除き、濡れている場合は乾燥させてください。 |
| 装具の汚れ、汗 | 使用後 | 表面の汚れは、軽く濡らした布で拭いてください。 汚れのひどい場合は薄めた中性洗剤を布に含ませて拭き、さらに水で濡らした布で洗剤を拭き取ってください。 その後風通しの良い場所で陰干ししてください。 |

8.2. 長期保管時の取り扱い



注意

- アシスト上限角度を「∞」にして保管してください。
- ガススプリングを取り外して保管してください。 ※取り外し手順は 12 ページを参照
- 各部位の汚れを取り除き、濡れている場合は乾燥させてから保管してください。
- ほこりの少ない場所で保管してください。
- 0~40℃の範囲を超える環境下で保管しないでください。
- 激しい雨や著しい粉塵の環境下で保管しないでください。
- アンモニア、酸、塩分、オゾンガスなどの腐食性ガスまたは引火性ガスのある場所では保管しないでください。

8.3. 輸送する時の取り扱い



注意

- ガススプリングを取り外して輸送してください。 ※取り外し手順は 12 ページを参照
- アシストスーツの破損を防ぐため、緩衝材で覆い、ダンボール等の箱に詰めて輸送してください。

8.4. 廃棄する時の取り扱い



注意

- ガススプリングは圧入されているガスを全て抜いた後、廃棄物処理法に従って処理してください。
- 装具やアシストスーツ本体は廃棄物処理法に従って処理してください。

9. 主要諸元

| | |
|----------|---------------------|
| 製品名称 | TASK Re Shoulder |
| 全長（非装着時） | 150 mm |
| 全幅（非装着時） | 500 mm |
| 全高（非装着時） | 470~650 mm（10 段階調節） |
| 重量 | 2.9 kg |
| 動力 | ガススプリング（窒素ガス） |

10. 製造販売元・お問い合わせ



株式会社ガイドー

〒586-0037 大阪府河内長野市上原町 250-2

URL : <https://daydo.jp/>

使用方法・故障などに関してのお問合せは下記 URL または QR コードからお願いいたします。

<https://daydo.jp/contact/>



memo